

令和6年度 第5回理事会議事録

令和6年12月11日

公益社団法人 岡山県獣医師会

(公社) 岡山県獣医師会令和6年度第5回理事会議事録

1. 日時及び場所 令和6年12月11日(水)13:30～

岡山県獣医師会館2階研修室 岡山市北区下中野350-103

2. 出席者

会長 中村金一 副会長 中塚陽二郎 甲斐みちの 梶原則夫 常務 加藤信介
理事 上原淳宏 瀧本良幸 三宅龍二 松川拓哉 西 克彦 日下知加久 江草佳彦
平田祐介(欠席)
監事 西村一道 木尾勝昭 丸山 光
オブザーバー 田原鈴子(欠席)
その他出席 澤田真由美

3. 開会及び挨拶

加藤常務理事(以下常務)が第5回理事会の開会を告げ、中村会長(以下会長)が冒頭、理事会への出席の労をねぎらい挨拶とした。

4. 出席理事の報告

常務が、理事13人中12人、監事3人中3人が出席、理事会は成立するとした。

なお、オブザーバーは、欠席の報告があったとした。

5. 議 事

常務が、議事に際し、議長は定款第34条により会長がこれにあたる、定款第36条及び理事会運営規則第12条により、出席した監事及び会長が議事録に署名するとなっている旨説明し、議事に入る。

議長が、順次次第にそって報告事項の説明を簡潔に行うよう事務局に求め、常務が説明した。

【報告事項】

(1) 会長理事、常務理事の業務執行状況及び前回理事会議事録の確認について

会長(代表理事)、常務(業務執行理事)が、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法」第91条第2項に基づき、前回理事会以降の業務執行状況等をそれぞれ説明し、畜産振興や動物の愛護及び管理に関する法の円滑な推進に係る業務を遂行したとし、この間役職員の報告すべき賞罰はなかったと報告した。

前回理事会議事録の発言内容の確認について、修正の無いことを確認し、会員専用ホームページに掲載するとした。

(2) 令和6年度上半期の監査について

常務が、事前送付した「上半期監査資料」により、後ほど説明する下半期事業実施状況と重複する部分は簡略化し、会員数・会員の異動状況・関係会議の開催状況、経理関係の財務諸表を中心に説明した。

会員数では、昨年9月末の会員数に比べ13名減少していること、賛助会員は岡山県獣医畜産株式会社が退会し、11団体となっているとした。

行事では、(4)その他の会議で、動物愛護推進委員会及び財務体質改善委員会を開催した旨説明した。

事業関係では、前半の大きなものとしては、9月15日(日)岡山コンベンションセンター レセプションホールにおいて、午前中は学校飼育動物サポート事業の研修会、午後は公2の学術の振興を目的とする事業のワンヘルス講習会及びシンポジウムを公開講座とし

て開催し、午前の部は参加者が41名内会員は20名、午後の部は68名内会員は32名の参加があった。経費は、全体では766千円、内訳は会場費が240千円、チラシおよび「さりお」による広報宣伝費240千円、他は講師謝金及び旅費などであったと説明した。

議長の指示で、木尾監事から、上半期の監査について、理事会資料に示した監査報告書により報告された。

議長は、事務局に報告事項（3）から（6）について一括して説明するよう求め、常務が資料にそって次のとおり説明した。

（3）令和6年度下半期事業実施状況

まず、動物愛護普及啓発事業の動物愛護週間の啓発活動は、動物愛護フェスティバルの開催など資料に示すとおり8支部で実施し、動物愛護募金による助成事業では前半はわんパークへの助成を行い、後半は盲導犬等身体障害者補助犬のフィラリア予防薬の助成及び盲導犬友の会の活動費助成を行うとした。

他の事業では、11月末時点での実施状況を示し、災害時動物救援活動業務では動物病院間での災害時の連絡体制の確認を防災訓練で行うとともに、市町村の防災訓練への参加では総社市の依頼により岡山VMATを派遣した。あわせて、マイクロチップの装着登録は累計219件であった。

学校飼育動物サポート事業は、今年度18校園で実施しており、その内モルモット飼育モデル事業で2園予定している。また、心と命のサポート事業～出前授業～は、前半美作市1校、後半津山市1校実施した。

公衆衛生の向上に関する業務の狂犬病予防注射の実施状況は、資料に示すとおり前年より多めに推移しているとした。

学術の振興を目的とする事業は、記載のとおり講習会等が開催されとしたが、第2回小動物講習会と日本獣医師会主催VMAT認定講習会が、同日鳥取県米子市で開催されると情報提供した。

（4）自民党岡山県議団令和7年度岡山県予算編成に係る各種団体個別懇談会の概要

11月15日（金）に開催され、自民党総務委員会に「公務員獣医師の確保について」、「県及び市町村防災計画における避難所のペット同行避難の具体的な記載」、自民党文教委員会に「動物飼育に取り組む保育園・幼稚園・小学校に対する、実践できる体制整備と市町村の支援の強化」について理事会資料に添付した陳情書を読み上げ説明した。

（5）令和6年度正会員会費納入状況

11月30日現在の状況で、8月末が期限のため10月に督促し、現在30名が未納者となっている。来年1月に第2回目の督促を行い、2月から3月にかけて電話でお願いすることとしたいとした。

（6）岡山県獣医畜産事業協同組合（岡山県獣医畜産株式会社）との状況

常務が口頭で、森川弁護士が10月21日付けで訴状を提出し、その後裁判所から訂正を求められ、12月3日付けで裁判所に受理され、12月5日裁判の初回期日が決まった。

初回期日は、1月23日14時30分となり、裁判所と相手弁護士及び森川弁護士によりテレビ会議システムで裁判が行われると説明した。

裁判費用の弁護士費用が、税込みで109万7千円、全面勝訴した場合は212万円となるが改めて相談するとのことでしたので、来年の予算に盛り込むようにしてゆきたいと考えているとした。

議長が報告事項について、質問等を求めた。

【質疑応答】

会 長；裁判について、無償譲渡の項目は入っていたか。

常 務；訴状に入っていた。

三宅理事；勝っても負けても弁護士費用はこちらが支払うのか。撤去費見積の約70万円でそのまま撤去できないのか。

常 務；相手の所有物件であり、登記してあるのでそれは出来ない。

会 長；（陳情時、内山県議から紹介された）新たに学校で動物飼育する予算の確認はどうか。

常 務；義務教育課の担当に確認してもらったが無かった。

議長は、他に質問等が無いのを会場に確認し、事務局に決議事項の説明を求めた。

【決議事項】

（１）岡山県獣医師会役員選任規程の一部改正

常務が、前回協議事項として提案した本件について採決のみしていただきたいとした。

採決の後、改正後の規程に基づき、（内々に）外部理事及び監事の候補者に声を掛け、来年度第1回理事会にかけていきたい。

事務局は、会計指導していただいている井上公認会計事務所の法人担当者が、関係法にも精通しているので、外部理事になっていただくと助かるが、これまでの会計指導だけなら月2万円で毎月指導していただき、決算と法人税の申告をお願いしていたが、これに5万円が加算されることになる。

他に、現在のように非常勤理事として、出席していただける方も当たってゆきたいと考えているが、いずれにせよ定款で役員の人数に定めがあり、定款変更は今のところ考えていないので、各部会から選出する理事・監事は各1名減で計算し、3月理事会で各部会の選出する理事数を決議してゆくこととなる。

【質疑応答】

会 長；原案が承認される前提での話であるが、候補者のあてはあるのか。

中塚副会長；（規程案では）候補者の前に、まずは原案で承認されるのが先で、承認されたのちに外部役員推薦委員会が推薦することとなっている。

常 務；理事会終了後、外部役員推薦委員会の構成員が本日出席されているので、委員会を開催し、意見を聞きたいと考えている。

議長が、役員選任規程の改正について裁決し、特に異議なく採決された。

議長が、次の決議事項の説明を事務局に求めた。

（２）新規入会者の諾否決定について

常務が、理事会資料に示す新規入会者について読上げ、議長が裁決し入会が承認された。

議長が、「その他」について説明するよう指示した。

【その他】

(1) 今後の行事予定について

- ・常務が理事会資料により説明した。
- ・令和7年1月30日に開催される令和6年度支部長・部会長・注射代表者合同会議で、前回議事録に記載した支部事務費の事務委託費については、個人の病院が事務局となった際の井笠支部での2万円を事務委託費として示すとしたが、各支部それぞれの事情もあるため、全体の金額を80万から100万に増やし、これまでの計算にそって配分するとし、事務局の積算内訳を合同会議資料として示し、各支部が支部事務費全体の中で委託費を決めて、個人会員に事務委託するようにと説明するとした。あわせて井笠支部や津山支部の金額を参考として示したいと説明した。
- ・当初3月19日(水)に予定していた次回理事会の日程が、会長の都合で3月12日(水)に変更となった。

(2) 三宅理事からの情報提供

関係企業に獣医学生をどうやって岡山県に就職していただけるか話を聞いてきたなかで、(株)TYLが意見を出してくれた。

配布した資料は、(株)TYLの作成した「獣医学生との接点構築の提案」～低学年に対する就職活動前のインプット～「アニマルジョブフェスタ愛媛」の資料で、岡山県獣医師会として県内に就業を促すプロジェクトと考えていただきたい。

これまで学生募集の就職説明会に行くと、5年生はすでに進路が決まっているので、下の学年へ説明する。就職ガイダンスに行くと、我々獣医師は公務員他さまざまな就職先があるので、就職先に悩んでいる学生を見かける。(三宅理事が)小動物だけのところで話をしている、他の部会の話が出るので、岡山県という魅力を発信できないかと考えていた。

(株)TYLは小動物関係の会社であるが、学生を集める流れを先んじているので、これに乗るかどうかで、平日の11時から4時まである会場を借りて学生を集めてくれる。昨年度の愛媛会場の集客実績や会場風景に示すとおり、年間3～4回開催し、(1回あたり)70～80人ぐらい来場者がある。これを全国で展開しており、関東では学生が列をなすところもあるが、地方ではブースをだしても学生は集まらない現状とのこと。

具体的には、3年から5年生の学生を会場に一堂に集め、会場右奥のトークセッション会場で、岡山県における獣医師の業務紹介を、産業動物・獣医公衆衛生のセッションと小動物のセッションで説明して質疑応答の時間を設けた後、会場の一角に岡山県からの出展ブースをまとめ、そこで個別に説明をするというもので、県でまとまった出展は、初めての事例であるが、先進的な取り組みとして紹介した。

【質疑応答】

会 長；1ブースの出展料はいくらか。

三宅理事；小動物は1ブース20万円、公衆衛生や産業がそれぞれ出店すると各20万円。

トークセッションは無料。

会 長；行政機関で予算化したところはあるのか。

梶原副会長；これまでは無い。

中塚副会長；行政等は、各大学が開催する就職説明会に各機関が行き、各機関が別個に実施している。力を入れている機関は、グッズを配布するところもある。

梶原副会長；大学側も学生の就職先を探す意味で開催するので参加料は無料であり、行政機関・団体は全部の大学ではないが、大学が開催する会場に参加し説明している。

会 長；今治の大学で、全学年を対象に開催された説明会に、四国の小動物の5病院で、今治の大学の説明会に出店したが、来た学生は1人。つまり、四国には就職したくないとのことではないかとのこと。

三宅理事；今の学生は、民間の（こうした）業者に抑えられている。

常 務；民間企業の説明会の魅力は何か。

三宅理事；とにかく人を集めてくれる。

甲斐副会長；公益社団法人なので、小動物関係においてあまり評判の良くないところ（提案した会社）に付き合う必要はないと考える。

梶原副会長；意欲のある人が、確認の意味で話を聞きに来て受験しているが、来る前の入口として興味を持ってもらう意味があるかと考えると、（岡山に対して）魅力が無いので来ないので、あまり意味がないと思う。

甲斐副会長；魅力がないから来ないのなら、企業を使っても入らないので意味がない。

三宅理事；当該業者は、今後の厳しい業界の見通しを持っていて、今まで悪い評判を出し続けてきたが、10年近く続いている。今後とも、若い学生は岡山県内に入って来ない。

日下理事；岡山出身の学生がいないのが問題、就職説明会でも岡山のブースを通り過ぎる。

瀧本理事；今は、獣医の大学を卒業した人間の入口として、まず(株)TYLに行く。

三宅理事；残念ながら、(株)TYLは抜群の集客力を持っている。

常 務；獣医師会でブース展示するとして、だれが、どういう説明するのか。

三宅理事；（専門の）それぞれの日常の仕事内容を熱く語れる人。最後は（職場の）人と仕事によるという、お金だけでない学生もいた。

会 長；本件については、（時間の関係で）保留するということをお願いします。

議長の指示で、最後に中塚副会長の閉会挨拶を行い、14時57分閉会した。

上記議事の経過及び議決事項を記録するため本議事録を作成し、会長理事及び出席監事が署名押印する。

令和6年12月11日

会長理事 中 村 金



監 事 西 村 一 道



監 事 木 尾 勝 昭



監 事 丸 山 光

